

令和6年度 第2回西都中学校設立推進委員会会議録

期 日 令和6年10月30日(水)

場 所 議会委員会室

会議時間 10時00分から11時30分まで

出席委員

委員名	出欠	委員名	出欠	委員名	出欠
水本明男	○	中武三月夫	○	黒木利美	○
米良広行	○	山崎芳幸		江藤久成	
坂本光志	○	蛭原博康	○	金丸 昭	○
押川由美恵	○	長友裕之	○	根井 孝	○
財津雅尉	○	高松 泰		青山勇一	○
伊東泰彦	○	竹下英貴	○	渡邊常介	○
井上貴房	○	市瀬義弘		寺尾好洋	○
齊藤幸紀	○	安藤和也	○	平郡智史	○
緒方寿行	○	倉永将平		壹岐秀洋	○
日高康史	○	阿萬一皓	○		

事務局 榎本教育長、重永教育政策課長、押川課長補佐、岩原課長補佐、佐伯主幹  
指宿学校再編専門監

議事日程

- 第1 開会
- 第2 教育長挨拶
- 第3 令和6年度第1回西都中学校設立推進委員会会議録承認
- 第4 説明・協議
  - (1) 西都中学校設立推進委員会各部会開催状況について
  - (2) その他
- 第5 閉会

1 開 会

事務局 定刻になりましたので、ただ今より、令和6年度第2回西都中学校設立推進委員会を始めさせていただきます。進行を務めます教育政策課の押川です。よろしく願いいたします。レジュメに基づきまして進行させていただきます。

2 教育長あいさつ

事務局 続きまして、「2 教育長あいさつ」となっております。西都市教育委員会教育長があいさついたします。

教育長 皆さんこんにちは。この場から失礼いたします。本日は誠に忙しい中御出席いただきましてありがとうございます。先日から市内の各小中学校の運動会それから体育大会に参加させていただきましたけれども、各学校非常に素晴らしい運動会・体育大会を展開していただいて、改めて学校はいいなあと感じた次第でございます。各校長先生方、PTA 会長さん方にはお礼を申し上げます。

見ていると小学生は小学生なりに運動会を楽しもうという姿が見られて、かけっこの遅い子どもも最後まで一生懸命走る姿も見られて非常にいいなあという風に思いましたし、特に中学校の体育大会を見ていると子ども達が自分たちの手で体育大会を盛り上げようというその主体的な取り組み、西都市の学校教育が求めるキーワードの一つに自立というものを求めているんですけど、その自立の姿が生徒たちの姿に体現できているところが非常に素晴らしいなと思います。あの姿を見ると多分保護者の方々、市民の方々は安心されたんじゃないかなとも感じました。ありがとうございました。いよいよ西都中学校令和8年度の4月の開校に向けて1年半を切りました。今あのちょうど中学校の校長会の方で、西都中学校の学校の姿、学校経営ビジョンをどうするかというところ辺りを今、策定をお願いしているところでもあります。それが来年の7月夏の前には固めましてそれを広く生徒、保護者、市民の方々に広く周知できたらいいなという風に思っております。本日は第2回の西都中学校設立推進委員会です。各部会からいろいろ協議された内容について報告があるかと思っておりますので、その報告を受けまして、皆様方いろいろな忌憚のない御意見をいただければありがたいなあと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 会議録承認 事務局

続いて会議録承認となっております。6月に開催しました令和6年度第1回委員会の会議録を事前に送付させていただきました。会議録につきましては、委員の皆様の確認用に作成したものではありませんが、公表もいたします。内容を御確認いただき、間違い等がありましたら訂正したいと考えておりますのでよろしくようお願いいたします。会議録につきまして何かございませんでしょうか。

### 事務局

それでは、これを成案としまして、会議録につきましては終了いたします。これから議事に入りますけれども、説明・協議等で発言される際は、机の上にありますマイクを通して発言をしていただきますようお願いいたします。前面にボタンがありますので発言前にボタンを押して発言していただきますようお願いいたします。発言が終わりましたらボタンを押して、ランプが消えるのを確認していただきたいと思います。会議録作成のために録音をさせていただきますので御了承ください。

### 4 説明・協議

#### (1) 西都中学校設立推進委員会について

### 事務局

それでは「4 説明・協議」に移ります。ここからは、西都中学校設立推進委員会設置要綱第6条の規定に基づき、本委員会の

委員長に議長を務めていただきます。よろしく願いいたします。

委員長 本日もどうぞよろしくお願いいたします。先ほど教育長からもありましたが、開校まで1年半を切りまして、いろんなことが先延ばしできないような時期になってきております。いろんなことを決めたり詰めたりする時期になっておりますので、皆さんも御意見をよろしく願いいたします。それでは各部会の開催状況につきまして事務局から説明をお願いします。

事務局 別紙資料1の1ページから2ページに沿いまして、わたしの方でまとめて開催状況を御報告いたします。各部会長さんで補足がありましたら、後ほどお願いいたします。1番目の総務部会は6月27日に開催いたしました。一つは校歌について経過説明を行っております。総務部会の意見をもとに設立推進委員会で意見をまとめ、製作側と折衝した結果を報告したところです。二つ目に校旗についてデザインを検討いたしました。大方のデザインを決めたところですが、生徒の意見を取り入れて最終的に決めたものを次回のこの会に提示できるのではないかと考えております。三つ目に校訓の検討を行いまして、呼称は「スクールコンパス」といたしました。7月9日に全中学校から代表が集まりましてワークショップを開催しましたので、令和7年上半期完成をめどに進んでいくこととなります。できるだけ早くこの会に報告し御承認をいただければと考えております。4つ目に閉校式について確認を行いました。まず、合同閉校式につきましては令和8年2月13日（金）を第一案としまして、中身があいさつばかりで堅苦しいということで、内容の吟味を少し行っております。あいさつが多いので、教育事務所長の案内について、校長会の意見をもちに必要であれば講演を入れる、開会前に伊藤部会長が作成予定のムービーを流す、各中学校の校旗返納のタイミングでそれぞれの校歌を流すなどの意見が出ております。最終的には、教育委員会が主催ですので教育委員会の方で具体的な検討がなされると思います。また、これまで何度も話題になっている各学校閉校式の予算につきまして再度検討を行いました。定額の部分の考え方を整理しましたので、後ほどその他の項目の所で提示させていただくことにしております。2番目に教務部会は8月26日に開催しております。教務部会では令和8年度学級編制案について、前年度にたたき台をつくってございましたので、それについて検討を行いました。その結果、1・2年生は各旧中学校の生徒を均等に各学級に配属することを基本とし、3年生につきましては、当初と変わって旧穂北中、旧三財中の生徒は各クラスに配属し、旧三納中の生徒は3つのグループに分けて3クラスに配属、都於郡中の生徒は二つのグループに分けて2クラスに配属することで次回検

討することになりました。次回のこの会に提示できると思います。また、各小・中学生の交流、行事・校時程の確認を行っております。例えば、集団宿泊学習で三納、三財、都於郡の小学5年生が今日、明日合同で青島青少年自然の家に行っておるんですけど、そのような形で入学前の交流とかを進めていくということで確認をしております。それから、今後の計画として、当初の検討事項にはありませんでしたが、校歌お披露目会、来年度各中学校で実施する入学説明会、説明に使用する学校案内資料の作成を教務部会で行うことで御了解をいただきました。3番目に生徒指導部会を10月24日に行いました。ここでも、当初の計画になかった「西都中学校いじめ防止基本方針(案)」を検討いたしました。この方針の基本的な考え方として、西都中学校が市内一円広範囲に校区が広がることも考慮して、いじめ対応につきまして、西都警察署との連携を深めていくことを基本とすることにしました。これをたたき台に、来年度の先生方の生徒指導主事部会で検討していただければと考えています。次回資料として配付させていただきます。4番目に保健体育部会を10月4日に開催いたしました。ここでは、部活動についてのこれまでの検討経過を確認する作業を行いました。設置する予定の部活動、活動場所、形態についてこれまでの検討経過を確認しました。来年度までは各中学校の校長先生の考え方に基づいて各学校の部活動が実施されますので、その動きも確認しながら、令和8年度の部活動について今後も検討していきます。また、教育委員会から担当者に同席してもらって地域連携についての西都市教育委員会の考え方を説明していただきました。休日の部活動の地域連携という方向で検討が進められておるようです。また、今年の新入学生から新調した体育着についてですが、胸のネームは刺繍しないということが決まっておったんですけども、妻中の体育の先生が胸ネーム刺繍がないと名前がわからない、タグに名前を書いていない生徒が多く誰のものか分からないなどの意見が出ていることから、胸ネーム刺繍を貼付することについて校長会での検討をお願いしたところです。5番目に庶務部会を7月31日に開催しました。一つ目の防盜金庫内の物品調査結果については卒業生台帳、指導要録のみ西都中へ移管することにし、その他の物品はしばらくの間旧中学校に残すことにしました。また、西都中に防盜金庫をもう1台搬入することになりました。二つ目の事務室等物品調査については調査結果をもとに現妻中事務室からの要望を洗い出しました。三つ目に今後の現妻中の西都中学校設立までの計画が提示されましたので、それを確認したところです。8年度の通帳を作れな

いのかなど通帳の作り方等の課題も残っております。明日、第2回を開催して課題の整理を行う予定です。次回また途中経過ができると思います。図書部会につきましては、引き続き、各学校で廃棄と、西都中図書室への移管が必要な図書の選定を行っていただきます。また、地域・PTA部会については、今後、西都市PTA協議会との共通理解と連携をしていきたいと考えております。

委員長

ありがとうございました。この後各部会ごとに部会長の方から補足説明などしてもらおうと思います。まず別紙1の総務部会について補足説明いたします。黒い丸の二つ目校旗についてですが生徒の意見を取り入れまして、部会の学校籍の人間の方で色をどうするかについて色を四つに絞りました。エンジ色、深緑色、紫色、紺色です。ピンクという意見、西都原の桜をイメージしたピンクという意見も出ましたが、業者の方に聞いてみるとピンク地に金刺繍でマークを入れると目立たないということでもともとないそうでした。うちの生徒会の方でさらに内容を検討したうえで二つに絞りまして、エンジ色と紫になりました。それぞれ理由付けがあるんですけどその理由付けのプレゼンを本日各教頭先生にQRコード付きのアンケート用紙を送りまして、スクールコンパス委員の児童生徒に投票させようと思っております。その結果を踏まえて11月21日に部会を開きますので、そこで原案を絞ろうと思っております。ですからそこで絞った原案を次のこの会でどうでしょうかということ提案したいと思います。エンジ色か紫です。次のスクールコンパスですが、聞きなれない言葉と思いますが学校の指針という意味で、これまでの学校教育目標と校訓を合わせたものになります。これからできる西都中についてはスクールコンパスを学校の教育目標とほぼ同じような扱いにしていこうかと今考えております。それに基づいて校長が経営ビジョンや重点取組事項を決めていくような流れにしとこうと思ってましてこのスクールコンパスは例えば10年単位で見直していこうと考えております。昔と比べて時代の流れがものすごく早くなっておりますので、校訓みたいにならずうっと息づいていくものもありますが、経営目標とも絡んできますので、時代に即した育成する子供の姿を反映するようなものにしたいと思っています。これもすでに子供たち大人を含めたワークショップでいろんな意見が出ておりまして、それを集約しておりますので、次の11月21日の会でさらに吟味しまして、早ければ次回、この会で提案したいと思います。決定につきましては来年度の上半期には決定して新しい西都中についてはこう言う学校づくりを目指しますということを内外に周知していくようにしています。上半期完成とありますが皆様には遅くともこの会には次回提案したいと考えております。続きまして4つ目の合同閉校式で、部会ではあいさつが多いので教育事務所は案内しないという意見が出ていたんですが、たくさんの学校が再編されますので県の教育委員会が来ないというのはどうかと意見がありますので、今後、市の教育委員会と協議して再検討したいと考えております。2の各学校閉校式の定額部分については最後にその他で再度提案していた

だきます。総務部会の補足説明は以上です。総務部会について何か御質問や御意見はないでしょうか。

委員

それでは教務部会につきまして部会長不在なので補足説明はありませんがこれについて御質問はありませんか。

妻以外から来る子供たちは転校に近いのかなと思うんですよ。その時の子ども達の精神的なメンタルケアそういうのを各学校でされていると思うんですが、その辺の話を少し聞けたらと思います。

委員長

事務局の方で何か把握していらっしゃることがあればお願いします。

事務局

やはり事前に交流をしておくということがポイントになるんじゃないかということで、小学生だけでなく、今の中1においても交流できることはないかということで、前回もここで名案、アイデアがあればということでお願いしまして、なかなかないんですけども、さっきスクールコンパスの話合いで各学校の生徒が集まってやった、そういう機会を利用して事前に交流を深めていきたいなと考えております。新しい動きとして、中学校の修学旅行も合同でやろうという動きがあるとかそういう話も聞いておりますので、少しずついろんなアイデアが浮かんできて、8年度に向けて心配がなくなるようにやっていきたいと思います。学級編制については、1年生2年生については均等でも十分やっていけるんじゃないかというのが委員の先生方の意見でしたので、受験を控えている3年生だけは少し考慮して学級編制をするということを進めています。

委員長

もう少し補足しますと、今妻中学校で西都中想定しましていろんなことやっているんですけども、二つほど紹介しますと一つは、1年生の2月、今年は1月31日になりますけど、中学1年生を一堂に集めまして、午前中は市民会館で、午後は妻中で一緒にキャリア教育で学んでいく交流会みたいなことをやっておりまして、結構交流して楽しそうに話しますし、リーダーの子たちは、生徒会とか集まって何度もいろんな会合をやるので、割と積極的な交流ができる。そういうようなことが苦手な子に関しては今うちにですね、学校が再編されるための教員が増えていまして、その教員が悩み事があったり学校に足が向かなかったり、タブレット今持っていて、このタブレットで学校の先生とやり取りできるシステムを作ったり、教室に居場所がないときに自分で学べるような部屋を用意したりしてそこに職員がついてフォローしたりできるような体制が、十分ではないかもしれませんがそのような配慮は準備として行っております。他にありませんでしょうか。

委員

均等割りという形で教え合いたいというところなんですけど、いろんな人間関係とかが学校内ではあるのかなと思っております。人間が少ないとこほど人間関係がいろいろあるのかなあとと思って、それがまた学級編制に考慮されるのかどうかというところがお伺いしたいんですけど。

事務局

串間の方が先行していろいろ参考にさせていただいているんですけど、串間の方も均等割りですとまず基本やると、そして子供

同士の関係を小中学校で、今も行っていますけど意見交換を行って、この子とこの子は一緒にしてあげようねとか、この子とこの子はちょっと相性が悪いからということなどで若干の作業を行うということになると思います。

委員 ありがとうございます。新しい学校に行くということで不安も多い生徒もいることと思いますのでその部分も考慮していただければありがたいなと思っております。

委員長 学級編制につきましては可能な限りの配慮はしていくということでお願いします。他にありませんでしょうか。はい、では次の生徒指導部会について補足があればお願いします。

委員 いじめ防止基本方針の基本的な考え方について検討しております。規模が大きくなりますので警察と連携を密にした会として学校警察連絡協議会というのを立ち上げまして、その構成と意義について検討したところでした。いじめ防止基本方針に関しましては次回お示しできるのではないかと思います。あとこの会で上がったのが、西都中になりまして範囲が広域になるので、家庭との連携、地域との連携の在り方について今後検討していかなければいけないのではないかとということが上がりました。そこで民生委員、主任児童委員と連携をとりながら地域との連携が密にとれるように準備をしていかなければいけないという確認をしたところです。不登校傾向にある子供たち、地域との連携の在り方については論点を整理して次回検討ということになっております。

委員長 質問はありませんでしょうか。

委員 中学校に上がる段階で生徒さんたちの情報もいろいろ考慮していただけるということですかね。茶臼原小学校は特認の子が結構来ていただいている、学校にやっとならなれてきた経緯もあるので、また4月から中学校に上がるときに大きいところに行って、昔のトラウマであったりとかそういったものが戻ってきてしまうということも考えられなくもないのかなあとと思いますので、そういったところもケアできる体制を整えていただけると生徒も行きやすい学校になるのではないかなというふうに思います。

委員長 特認で茶臼原小に行っている子ども達のケアについての御質問ですけど、何か教育委員会の方でございますか。可能な限り学校でも対応は致しますけど。

委員 特認だけでもないと思うんですけど、たぶん不登校の方はおられると思いますので、ケアも一緒に考えていただけるとありがたいと思います。

委員長 今そのような部屋とか体制は妻中でも整備しておりますので、教室になかなか馴染めない子ども達が自分のペースで学べる部屋を作っております、そこに職員が数名ついてですね、いろんなタブレットを使った活動であるとか、先生が主導しての教育活動もやるんですけど、それはやりたければ参加するけれども自分一人が良いという場合はひとりでもできる、それから、先生とのやり取りはタブレットを使って、チャットといっているようなメッセージで先生とやり取りできる機能で、先生とやり取りするとかそういったことができるようにはしております。さらにはオンラインで授業を受けることができ、対話ができるシステムも整備中で



れをした後の運用につきまして、今後、部活動の地域移行というのが進んでおります。令和8年度は休日の部活動を地域に何らかの形で移行しましょうと国、県等の方針もありまして、それに沿うような形で、市の教育委員会もいろいろ方策を立てております。これにつきましては設置と関係がありますが、予算も必要になってきます。そういったことで、部活動はあるんだけど指導者がいない、予算もないということであれば指導者が確保できない状況も考えられるので、どの部活動を設置して地域移行を進めていくのかということ再度精査する必要があるのかなということで、校長会の方で再検討をして提案をさせていただければと思います。対照的に運用というのがあるんですけど、令和7年度中までは各学校で行うんですが、令和8年度になったら、特に中体連の大会等は令和7年度からの参加の結果というのが8年度に引き継がれていくことがあります。ですので、7年度の途中からの運用もしっかり考慮して8年度につなげていかないといけないということで、この運用につきましても校長会の方で再度検討していきたいと思います。部活動の地域移行につきましては生徒に専門的な指導が受けられるような環境とか教職員の働き方改革とかの側面を持っておりますので、西都中の開校と部活動の地域移行というのが同時期に進行していかなければいけないということで今慎重に協議を進めているところです。あと、その他の所にありました体育着のネーム刺繍とかこう言ったものにつきましても校長会で検討して方向性を示したいと思います。一番最後のユニフォームのことについてなんですけど、これはやっぱり相当な予算が必要になってくると考えられます。新調しなくてはいけないのか、現状のままで使える部活動とかそういったものを精査して予算化していく必要があると思います。生徒の購入ということになるとちょっと負担が大きいと思います。今の2年生、1年生につきましては、今の学校のユニフォームを買っていると思いますので、引継ぎの問題とか、個人購入のこととか考えると予算化していく配慮が必要なのかなとおもいますのでこちらへんについても検討をしていきたいと思っております。

委員長

はい、ありがとうございます。最後のユニフォームの予算化については事務局で何か進んでおりますか。

事務局  
委員長

今のところは具体的には進んでおりません。

保体部会について御質問・御意見があればお願いいたします。

令和7年度からの部活動の変更と言いますか、全体で地域に返す方向とか、途中で7年度途中に変わるかもしれませんとか言うことだったんですけど、その方向性というのは大体いつくらいに決まりそうなんですか。今、令和7年度の最初の中体連に向けて練習もう始まっていると思いますので、できれば早めにこういう風にやっていきますよと確定したものを他の保護者さんも待っていると思うんですけど、ある程度このぐらいまでには決まりますよというのをお伝えできればと私たちの方も思っているのですが、よろしくをお願いします。

委員

令和8年度大会参加についてなので、令和7年度の総合体育大会、夏の大会が終わると3年生が引退をします。2年生中心に部

活動が切り替わります。2年生が令和8年度西都中の3年生になります。ですので、令和7年度の2年生、今の中学校1年生の子たちをどのように部活動で運用して練習等を進めていくかというのは令和7年度の夏の大会が行われるぐらいまでに方向性はお示しできればいいかなと思います、運用につきまして。3年生が引退したあとどのような形で各学校で部活動に取り組んで、基本は令和7年度は各学校ですので各学校ごとの校長先生の運用ですけども、8年度に向けた取組をしていかなければいけないので、例えば、合同で部活動をする機会を設けるとかあくまでも例ですけど、そういう方向性を令和7年度夏の総合体育大会6月7月くらいまでには、その後の運用についてお示しできればという風には考えております。その方向で検討していきたいと考えております。

委員長 確認ですけど、7年度の夏は当たり前今まで通り行われて、7年度の秋の大会も今まで通りですか。

委員 だと思います。令和7年度の秋の大会は各学校での参加、その後を7年度の夏くらいまでには方向性を示したいと考えています。

委員長 ほかにありませんか。はい、ありがとうございます。庶務部会についてはありませんか。

委員 また明日庶務部会を開催して、少し具体的な方向性を決めていければと思います。中学校の事務職員の方々との連携を深めながら検討していきたいと思います。

委員長 庶務部会とさらに別に中学校の校長と中学校の事務主任で協議する場を作っています、そこで具体的な作業とか、検討しまして庶務部会の方に上げていくような形で進んでおりますのでお願いいたします。庶務部会について気になるところとか御質問とかありませんでしょうか。はい、では続きましてPTA部会の方何かありますか。

委員 本年度はまだPTA協議会との共通理解を図る場を設けておりませんので、また日程調整をしながら、これまで話し合ってきた部会での内容をPTA協議会の方におろしていきたいと思います。

委員長 今日はPTA会長さん方もおられますけど、PTA協議会の方で検討したいと思っていられる内容とか補足とか御意見でもいいのですが何かございませんでしょうか。

委員 前回6月にこの会があってそこから約4カ月経っております。その中でうちの方にはまだ打診もまだ来ておりませんので、何か要望するというよりもまずは一度お話をさせていただく機会を設けていただきたいと思います。そこをお願いしたいと思います。

委員長 今回の件については事務局の方でそういう日程を調整していただくということをお願いいたします。他にありませんでしょうか。

委員 すみませんちょっと戻ってしまって。体育部会の地域に戻すというものですけれども、私が初めて参加するので今まで話が出ていたらすみません。これ意図としては普段は学校の先生方がやられて、土、日になった時に地域の外部指導者みたいな形で地域の方が指導していく休日もそういう形で行くそこに学校の先生は

教 育 長

来られないとか、そういう形なんですか。説明をいただければありがたいです。よろしく願いいたします。

国の考え方を整理して説明させていただくと、基本的には国は地域移行という形で学校の先生ではなくて、基本的には地域の指導者を確保しながら、地域の人材を生かして部活動を行うという方向で進んでいます。ただ、それはなかなか難しい課題が多くて、地域に人材はいないんじゃないかということもあってより地方ではそういう傾向にあるので、西都市としては地域移行というよりも地域連携という形で学校の先生たちと地域の指導者の方々と交えた形での地域連携というあり方を模索検討しているところです。ですから、平日の部活動と、今現在、土、日の部活動によっては部活動によっては地域の部活動の指導員をお願いしてやっている部分があるんですけども、そこらあたりも平日の部活動もやっていこうというような形で今検討を回っています。いろんな課題があってですね、先生たちの働き方改革も非常に進んでおりまして、基本的に先生方というのは今までも平日は無償でやっていただいて完璧なボランティアで今何十年もやってきた経緯がございます。これが制度疲労を起こしておりますので、ここらあたりも含めて地域の方々と先生たちと一緒にやれる形ができないかというところ辺りをちょうどプランニングしておりまして、西都中学校の開校と同時に令和8年度から新しいスタイルでできればいいなと思っています。この動きは全国の市町村で当然検討しているんじゃないかと思います。

委 員 長

いかがでしょうか。

部活動というのに今度西都中になるというので、期待をされている保護者の方も相当数いるんじゃないかという風に思っております。西都市で子どもたちが活躍していけるねとかそういうのを考えている方々もいるんじゃないかなというふうにも思っておりますので、部活動についてだけじゃないんですけどもこの部分も大切な部分であると思いますし、お聞きしたら、地域連携というお話だったんで基本的に部活動って学校の生活の上になり立っているものである部分もあるのかなという風にも個人的には思っております。だから、土、日学校から全く外れたところで指導が行われるというのは個人的には「どうかな」という思いもあるんでそういった形で先生方がかかわっていただいたうえで地域連携という形を模索していく方が良いのかなと個人的には思っているところです。

委 員 長

この件はよろしいですか。はいPTAにもう1回戻しまして、PTA部会について何かありませんか。ありがとうございます。図書部会の方、部会長が不在ですけど何か聞いていることとかありますか。事務局から補足はないですよ。はい、ありがとうございます。では各部会の開催状況については御理解いただいたということで次に移ります。

(2) その他について

委 員 長

続いて(2)その他につきまして前回話題になっておりました閉校式の経費について事務局から説明をお願いいたします。

事務局 1枚紙で最後に付けております。そちらの方御覧いただきたい  
と思います。前回、前々回と閉校記念行事実施についてこの会  
でお示しして御意見をいただいたところです。本日また資料として  
付けておりますけれども、これまで何案か示させていただいた中  
から今日お配りした資料に示している形でどうかと思っ  
て本日提案しております。まず積算としまして、定額を前回100万  
円とお示ししてございましたけれども、150万円に増額しまして  
地区の人口に応じて加算するという形でどうかと考えておる  
ところです。それから下に付けております実施の方法につきまし  
ては前回お示したものと変わりはありません。補助金の増減  
額についてのみですね、今回見直したものを提示させてもらっ  
たところです。

委員長 それぞれ各中学校において閉校記念式典とか記念事業の計画  
も進みつつあるように聞いておりますが、補助金のことについま  
して御質問、御意見ありますでしょうか。

委員 先日穂北中学校のOB会がありまして、穂北中学校はこの造林  
基金を使用するときはOB会にこういう風に使いたいんですけ  
どということでもまず打診と提案をさせていただいてOB会の会  
長がそれを承認すれば市に使用の手続きをさせていただいてい  
るという流れだったんですが、先日そのOB会で意見があったこ  
とをお伝えしますね。造林基金を使うのであればまずまた聞き、  
会長とか学校を通してではなくてまずしっかりと説明をしてい  
ただきたかったというのが一点と、こうやって金額を示してい  
ただいているんですが、まず各学校で閉校準備金に必要な予算書  
をとって、その予算書を提出して市の方で検討させていただいて金額  
を決めてもらう方法もあったんじゃないかということ伝えて  
くれと言われましたのでここで話しさせていただきました。

委員長 御意見ということでした。他にこの件について御質問ありませ  
んか。次年度の予算の準備も具体的に進めないといけない時期に  
なってきたるので事務局ここで承認されたらこれで動いてい  
いということになりますか。

事務局 はい、ここに示した額で来年度の予算ということで要求してい  
きたいと思います。

委員長 ほかに何かありますか。

委員 うちの方も以前この会でも金額的な面もいろいろ言わせても  
らいました。今でも思うのは補助金ということで学校の分収林基  
金というのはというのは常々思っております。やはり西都市から  
の補助があつて何か補助があつてもいいことではないかなと今  
でも考えておりますが、一応地元の閉校行事の委員会の中でも予

算的な面、校長先生から150万ということを知りましてその中の委員さんからも特段異議等はございませんでしたので、今回これで決まればそれぞれがの中で工夫してやっていくしかないのかなと思うところではございます。ただ、一番大きな母体というのが妻中さんなので、そこにこれで足りているのかなという不安は感じたところではありますが逆に妻中さんは大丈夫ですか。

委員 御心配いただきましてありがとうございます。西都市のPTA協議会の方でも皆さんから御意見をいただいて、予算云々というよりも記念碑などを学校跡に置くのかとかそういったことは皆さんこないだ御意見いただいて重々と深く話し合えたと思います。問題はですね、先ほど、委員がおっしゃったように足りるかどうかということで、足りれば私たちは何の問題もないと思うのですが、妻中が一番母体が大きいと言っていたかのように我々としてはこのいただいた金額で足りないということであれば記念誌の販売とかそういったところで我々は補っていくという風な一応の方向付けがあります。他の学校については前回先ほども申しましたように市のPTA協議会ではあまり不足しているという声は聞かなかったのですが、不足しているというところがあればですね今もうここで出してもらった方が今の流れに乗ってしまうということでしたので過不足があるというところがあればおっしゃっていただければなあと思います。妻中は今販売促進ということでさらに増やしていきたいというところが意見として出ているところであります。

委員長 ありがとうございます。各校の方で御要望とか御意見がありましたらお願いいたします。はい、なかなか難しい問題ですけど御理解いただければ大変ありがたいという風に思います。では、その他事務局から何かございますか。

事務局 いや、ございません

委員 すみません、ちょっといいですか。今後令和8年度中学校が一つになるということで今盛んに各地区で祭りというのが行われていたと思います。穂北中に限ってですが、男子は臼太鼓踊り、女子はソーラン節とか披露させてもらってました。穂北まつりの時も下水流臼太鼓踊りを披露させていただいて、今後ですよ、今までは穂北は穂北、三納は三納、三財は三財でやってらしたと思うんですが、一つになるということで祭りへの中学生の参加の方法とか、もう一つですね下水流臼太鼓踊りというのは県の無形民俗文化財に指定されておりまして、祭りに披露する、運動会で披露するというのでそういった文化の継承というのですか、そういったのもある程度は保存会の方からすごく評価されて

いたというのはあるんですね。できれば一度ですね、こういった文化財の継承の仕方とか、祭りの参加の方法とかそういったものもこの場で検討していただいたらうれしいかなと思いましたが、最後に申し上げさせてもらいました。

委員長 妻中の方でも結構話題に上ってしまっていて、開校して1年のスケジュールが立って後からここで何人か出してもらいたいんですけどとかこの日は空けてほしいんですけどとなるよりは最初に検討してもらった方が良さそうですね。検討するとしたらどこの部会になりますかね、地域連携は。

事務局 各学校の年間行事の案とか作っている教務部会、ここに各地域で実施されていて今中学生が参加している行事については校外行事に位置付けていく必要があると思います。ただ各地区ですら開催時期等がずれますので、同じ日にやっているわけでありませんで、学校でその練習をとかはなかなか難しいと思うんですよ。というのが地域・PTA 部会で検討をしたんですけども、この会でも承認はいただいているんですけども、そういう臼太鼓をやっている各保存会の方とかそういうところからの依頼を受けた形で生徒を参加させていくという形はどうだろうかということ、地域の行事に生徒が参加する場合の参加の仕方については検討し、ここで報告し、承認をいただいたという経緯がありますので今のところはそういう形で地域・PTA 部会の方も考えております。ですから、今度へそ祭りがある今まで三財中の生徒さんが実行委員に入っていた、当日だけでもほかの地区の生徒も行きたい、というようなことがあればほかの地区の生徒が自分の地域ではないお祭りのスタッフとして活動するそういう形も生まれてくると思いますので今から心配をしていくよりも、それぞれの団体の方からの依頼にできるだけ学校がこたえる形でせつかく学校が一つになりますので、ほかの地域の行事にも参加できるような柔軟な対応ができればいいなという風に地域PTA 部会では話し合いをしたところです。部会長の方で何か追加、補足することがあればお願いします。

委員 員 今事務局から話があった通りです。

委員長 教務部会で話すとかになった時にそこには各地域の人が全部入っているわけではなくてPTA 代表であれば穂北中が入っていて、都於郡中と三財小中は先生、妻中も先生なので、地域の声が一同に集約できる場ではないんですけど、どうですかね。

委員 発信の仕方だと思うんですよ。ですので地域づくりの皆様のお力もお借りしまして、保存会のメンバーの方たちとたぶん同じような世代の方がたくさんおられると思いますので、また地域に戻

られても一緒になって保存できるような態勢を整えていければ、発信できるような又できればやっていきたいと思います。

委員長 三財はへそ祭りの企画運営を中学生が入って、学校の授業の中でもそれやってたと思うんですけど、そこについて西都中になつたらどうしようという話とか出てたりしますか。

委員 へそ祭りの実行委員会が5月くらいから立ち上がりまして、今担当の先生と3年生を中心に実行委員会等にも参加しています。大体やる内容としてはステージでの出し物とかなんですけれどもそれ以外に中学生独自のワークショップというのやりながら、へそ祭りに参加しました。実際ですね、三財中学校に関してはその日は授業という位置づけで参加してまして、次の日は代休という形になっております。なので、そのやり方でもしも令和8年度やるってなると、またちょっといろいろな日程調整等学校との調整等いろいろあると思いますけれども、各地区ともいろんな祭りを抱えてて、それに対して小学生、中学生がかかわることが多いと思うので、僕自身の意見としてはですね、三財出身の子ども達だけではなくて、いろんな地域の子ども達にそういう現場を楽しんでもらいたいとか運営にかかわってもらいたいというのがありますし、そこいら辺は今出てきたことなので、また次回に向けて、うまいこと皆さんで話を詰めていただいて、次の機会にどういう風な方向性に持っていくかというのを話し合った方がいいのかなと思います。

委員長 すみません、これ1回御意見とか聞いて教務部会で検討するというやり方にしますか。今みたいに授業に入れてくれとかそういう話が出てきたらできるかできんかはそこで揉まないといけないと思うんですよね。

委員 先ほど言われたように教務部会には各地区全員がそろっていないというのもあるので、もしよければですけども西都市のPTA協議会の中で1回情報を集約させていただいて、今三財だったら授業に取り入れたいというのがあったので、それを一度取りまとめさせていただいて投げるとい方向ではいかがかなと思ったんですけど。

委員 補足というかお願いで、今小学校で一緒に小学校と中学校一緒にやっているところもあると思うんですよ。今、茶臼原小学校、教員の数も保護者の数も少なくて前回の運動会から中学生の子たちにスタッフとして完全に手伝いをお願いした形になったんですよね。たぶんそういった事例がほかの小学校でも起きてくるんじゃないかなあと思うので、そういったところの連携はある程度決めておいた方が良くないかなあという風には思います。

委員 長

すごい助かるのと中学生も地元にもまた帰って機会を設けるとい  
う形にもなると思うので、検討していただけると、お願いします。

今の御意見を整理しますと、まず PTA 協議会で御意見があれば  
出して集約してもらって、それを地域 PTA 部会にまず上げていた  
だいて、その中で教育課程に関するような御要望がある場合には  
教務部会で検討していただくということで、だめならだめなもの  
は早くだめと分かった方が次のことが考えられると思うので、で  
きたら次の 3 回目の時ぐらいまでには方向性が出て、7 年度の上  
半期ぐらいには結論が出ておかないと、学校にできないものは地  
域に頑張ってもらわないといけなかったりしますので、そういう  
流れでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。そ  
の他ないでしょうか。では協議を終了といたします。長時間あり  
がとうございました。では、事務局の方よろしくをお願いします。

5 閉会  
事務局

みなさん様々な御意見、御審議ありがとうございました。次回  
につきましては先ほど 2 月というお話もありましたけど、年度内  
にもう一度開催できたらと思っておるところです。各専門部会の  
開催状況を見ながらまた日程調整の文書を送付させていただきます  
ので、回答のほどよろしく願いいたします。それでは以上  
で令和 6 年度第 2 回の西都中学校設立推進委員会を終わらせて  
いただきます。ありがとうございました。